授業科目	上級日本語					単位	1
履　　修	選択	関連資格				ナンバリング	TO12003J
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-3 DP2-1 DP2-2		
担当教員	林　　裕二						
授業概要	中級レベルの日本語を学び終えた学生を対象に、一般の授業が十分に理解できるアカデミック日本語のレベルまで、四技能（聞く・話す・読む・書く）を総合的に伸ばすための授業を行う。具体的には、まず、テキストをベースに語彙や文法を学びながら、様々な文章を読む。その上で、自らの意見を話したり書いたりする時間も設ける。授業時以外でも日本語の学習ができるよう、自宅でできる課題も課す。小テスト、レポート提出と口頭発表を毎回行う。						
学生が達成すべき行動目標	1.　日本語の四技能（読む、書く、聞く、話す）を向上させることができる。 2. 一般的な授業を受ける際に必要とされるアカデミック日本語のレベルに十分に到達できる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	15	20	15	0	0	100	
知識・理解（DP1-1）								
知識・理解（DP1-2）								
知識・理解（DP1-3）	15	15					30	
知識・理解（DP1-4）								
思考・判断（DP2-1）	15		20				35	
思考・判断（DP2-2）	20			15			35	
関心・意欲（DP3-1）								
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）								
技能・表現（DP5-2）								
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
新聞の社説を要約、プレゼンテーションができ、質疑応答に基本的に対応できる。	比較的取り組みやすい内容の新聞の社説を要約、プレゼンテーションができ、質疑応答に基本的に対応できる。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション	講義	予習・復習	90

2	地理	講義	予習・復習	90
3	家族・家庭生活	講義	予習・復習	90
4	情報化社会	講義	予習・復習	90
5	日本の文化	講義	予習・復習	90
6	医療	講義	予習・復習	90
7	犯罪	講義	予習・復習	90
8	科学技術	講義	予習・復習	90
9	文学・芸術	講義	予習・復習	90
10	法律	講義	予習・復習	90
11	人間関係	講義	予習・復習	90
12	政治	講義	予習・復習	90
13	心の豊かさ	講義	予習・復習	90
14	生命倫理	講義	予習・復習	90
15	まとめ	講義	予習	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	日本語能力試験（JLPT）N1レベル以上の日本語語彙・文法知識及び読解・聴解能力
テキスト	学ぼう！にほんご　上級 定価 1,980 円（本体 1,800 円） 編者　日本語教育教材開発委員会 出版年:　2010 年 01 月 10 日 出版社:　専門教育出版 商品コード:　488324456 ISBN コード:　9784883244560 ＊必要に応じてプリント類を配布。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日本語に対応した（電子）辞書、日本語の文法書。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	毎日、少しでも何か日本語の文章、特に新聞・雑誌を読むようにしてください。日本語の語学的な側面だけの強化ばかりでなく、日本語で読むことで教養を豊かにすることができるようにしましょう。
達成度評価に関するコメント	外国語の学習は、母語学習と結びついてきます。ここでは留学先の日本という国での生活を通して、社会的文化的側面も学ぶ、絶好の機会です。それを確認していくためにも、毎回のレポート、プレゼンテーションにしっかり取り組んで、成果を出して下さい。